

事業名	衛生技術者充足対策費			調査番号	43
細事業名	自治医科大学第一次試験実施事業費	財務コード	084002		
担当部課室	福祉保健 部 医務 課 医療指導・県立病院 担当 (内線)	3415			

事業の概要

実施期間	始期 S47 年度 ~ 終期 年度
実施主体	県(直営)
目的	だれ(何)を対象に 医学部進学を目指す高校生等 その対象をどのような状態にして 自治医科大学に進学し、医師国家試験に合格後、県内のへき地医療機関に勤務している 結果、何に結びつけるのか 本県のへき地医療の充実
内容	自治医科大学は、医療に恵まれないへき地等における医療の確保向上を図るため、昭和47年に設立され、全国の都道府県が共同で設立した学校法人が運営している。このため、各都道府県に入学人数の枠(2~3名)があり、第一次試験を含めた次の業務を各都道府県が実施する。 ・自治医科大学医学部受験者の募集 ・自治医科大学医学部第一次試験(学力試験・面接試験)の実施 ・自治医科大学医学部入学手続き 二次試験は自治医科大学が実施し、合格者を決定

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	第一次試験受験者数	目標	50	50	50	50	50	50
		実績(見込)	50	57	55	49	49	50
		達成率	100.0	114.0	110.0	98.0	98.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	
成果指標	県内医療機関に勤務する自治医科大学出身医師数	目標	56	59	60	62	64	64
		実績(見込)	59	61	60	58	63	64
		達成率	105.4	103.4	100.0	93.5	98.4	
		達成区分	b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		159	169	188	168	190	199	199

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	県内から自治医科大学を卒業した者の8割を目標値としており、達成率は微減傾向だが、概ね期待通りの実績を残している。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(下記説明のとおり)		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	県内から自治医科大学を卒業した医師の8割程度が県内で勤務しており、へき地医療の確保向上が図られている。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
その他	説明			
見直しの必要性	無			

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。